

# 中学校統合について

## 新中学校開校検討 委員会を開催

町教育委員会では、2月22日に、第4回富士川町新中学校開校検討委員会を開催し、委員の皆さんに、新中学校の開校時期の延期と、中学校の統合に関する学校関係者へのアンケートや対話集会などによる意向確認の方針について、説明を行いました。

検討委員会では、「子ども達にとって、希望と喜びに満ちた統合であってほしい」、「意向調査が重要なではなく、子どもにどのような教育環境を与えるかが重要である」、「これまで議論した内容が浸透するように配慮していただき、統合の経緯が無駄にならないよう、慎重に進めてもらいたい」などの意見をいただきました。

今後は、アンケートや対話集会を実施し、児童生徒・保護者・教職員・一般市民の皆様の意見を聞き、10月を目途に、中学校統合について、方針を決定したところとなっております。

## アンケートや対話集会の 実施について

アンケートは、最初に、児童生徒・保護者・教職員を対象に実施する予定です。

第2次富士川町中学校規模適正化基本方針で、「増穂中学校と鰻沢中学校を統合し新たな中学校として設置する」方針とした背景や経過、今後の児童生徒数や学級数の推移をお示しながら、統合についての意見を聞きたいと考えております。

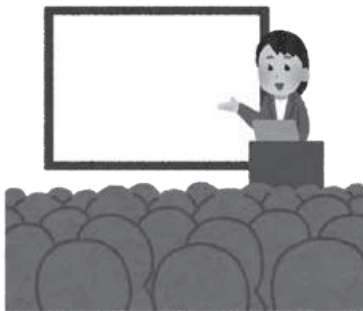
その後、児童生徒を見守る町民の皆さんのうちから、500人ほど抽出させていただき、中学校についてのご意見を聞きたいと考えております。

これらのアンケートの分析結果を参考に、いくつかの方向性を示しながら、改めて中学校統合の方向性について、児童生徒・保護者・教職員へ、アンケートを実施するとともに、対話集会を開催したいと考えております。

3回のアンケートと対話集会で出された意見を参考にしながら、中学校統合についての方針を決定していきたくと考えておりますので、児童生徒・保護者・教職員・一般市民の皆さんのご協力をお願いします。

また、方針が決定した際には、改めて、皆さんに説明する機会を設けていきたくと考えております。

なお、対話集会や説明会は、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況により、開催できない場合があります。



### ●お問い合わせ

教育総務課 中学校統合準備室

22-50001

## 中学校でオンライン交流

2月25日(金)に、増穂中学校と鰻沢中学校が、それぞれの魅力を共有することを目的に、交流授業を行いました。

両校の1・2年生同士で、学校の伝統や文化、取り組みについてオンライン上で紹介し合った交流授業では、県内めぐりや職場体験の様子を発表したり、町の無形文化財である鰻沢ばやしについて、本物の太鼓などを用いて分かりやすく紹介したりする様子が見られました。



また、ゲストとして鰻沢ばやし保存会代表の青柳博文さんにも出演いただき、地域の方から直接伝統文化に関するお話を伺うこともでき、みんな熱心に画面を見つめていました。



終了後、生徒に行ったアンケートでは、「次は実際に対面で交流したい」、「鰻沢ばやしを生で聴いてみたい。自分もやってみたい!」などの回答がありました。

これらの意見を参考にしながら、今後も交流授業を継続し、より一層、多様な考えを醸成できる教育活動を推進していきます。

